

【 概 要 】

平成24年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第3回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについてインターネットによるアンケート調査を平成25年2月に実施し、その結果を取りまとめたものである。
回答数:1,022件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「全期間固定型」の希望は増加、「固定期間選択型」は減少

- ・ 「全期間固定型」の希望割合は36.2%:(前回調査[平成24年10月]:35.4%)に増加し、「固定期間選択型」は34.4%(前回調査:35.3%)に減少し、「変動型」は29.4%(前回調査:29.4%)と変わらず。 <p.2>

2 住宅の買い時意識は上昇

- ・ 今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、55.5%(前回調査:53.2%)に増加した。 <p.6>

3 住宅取得に当たっては「価格・費用」と「耐震性能」を重視する方が多数

- ・ 住宅取得時に特に重視するものとして、「価格・費用」「耐震性能」が引き続き上位である。 <p.10>
- ・ 住宅取得時に耐震性能を重視すると回答された方の50.1%が「コストアップしても、耐震性能を高めたい」と回答している。 <p.11>
- ・ 住宅取得時の条件として省エネ性能を重視すると回答された方の59.7%が「コストアップしても、太陽光発電設備を設置したい」、41.8%の方が「コストアップしても、LED照明を設置したい」と回答している。 <p.14>